



薬剤部

～情報～

2026年7月



6月の採用薬品

プラプロフェン点眼液 0.1%「参天」

非ステロイド性抗炎症点眼剤

参天製薬株式会社

【効】外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法

（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、上強膜炎、前眼部ブドウ膜炎、術後炎症）

【用】通常、1回1～2滴を1日4回点眼する。

なお、症状により適宜回数を増減する。

【副】添付文書参照

★ A Z 点眼液販売中止による代替採用



大塚糖液 2.0%

糖類製剤

株式会社大塚製薬工場

【効】

○脱水症特に水欠乏時の水補給

○循環虚脱

○低血糖時の糖質補給

○高カリウム血症

○注射剤の溶解希釈剤

○薬物・毒物中毒

○心疾患（G I K療法）

○肝疾患

○その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合

【用】本剤は持続型インスリン製剤と併用する超速効型インスリンアナログ製剤である。通常、成人では、初期は1回2～20単位を毎食直前に皮下注射する。なお、投与量は症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量は通常1日4～100単位である。

【副】添付文書参照



ラタプロスト点眼液 0.005%「ニットー」

緑内障・高眼圧症治療剤

日東メディック

【効】緑内障、高眼圧症

【用】1回1滴、1日1回点眼する。【副】添付文書参照

★キサラタン点眼液0.005%より切り替え



期限切迫薬品

2026年7月 ポビドンヨードガーグル液 7%「ケンエー」、セレネース注、
トリアムシロンアセトニド口腔用貼付剤



6月の採用薬品（限定採用薬品）

ラフチジン錠 10mg「トーワ」

H2受容体拮抗剤

東和薬品株式会社

【効】【用】

＜胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎＞

通常、成人にはラフチジンとして1回10mgを1日2回（朝食後、夕食後または就寝前）経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。

＜下記疾患の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善
急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期＞

通常、成人にはラフチジンとして1回10mgを1日1回（夕食後または就寝前）経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。

＜麻酔前投薬＞

通常、成人にはラフチジンとして1回10mgを手術前日就寝前及び手術当日麻酔導入2時間前の2回経口投与する。

【副】添付文書参照



エクメット配合錠HD

2型糖尿病治療剤

ノバルティスファーマ株式会社

【効】2型糖尿病

ただし、ビルダグリプチン及びメトホルミン塩酸塩の併用による治療が適切と判断される場合に限る。

【用】通常、成人には1回1錠（ビルダグリプチン／メトホルミン塩酸塩として50mg／250mg又は50mg／500mg）を1日2回朝、夕に経口投与する。

【副】添付文書参照



採用区分変更薬品

注文薬品 → 通常採用薬品

トラセミドOD錠 4mg「TE」

アミオダロン塩酸塩速崩錠 50mg「TE」

6月の削除薬品：

レボトミン錠 5mg、レボトミン 25mg、キサラタン点眼液 0.005%、
A Z 点眼液

